

よくある質問

応募者が6名以上なので行を増やしても良いですか。

個人の応募者は、主に関わった6名に絞ってご応募ください。6名に絞れない場合、団体名で応募するか、本文中に謝辞として記載するなど工夫してください。

個人・団体どちらで応募したらいいですか。

表彰状及び副賞の記載は、個人の場合は所属名及び氏名で、団体の場合は団体名になります。応募後の変更はできませんのでご注意ください。

要旨や本文が規定内に収まりません。どうしたらいいですか。

規定されたページ数や文字数に収めることも審査の対象です。簡潔に分かりやすくまとめてください。規定されたページ数や文字数を増やすことは認められません。

決裁の関係で締切日までに送れそうにありません。

応募者は、皆同じ条件で応募しています。公平性を保つため締切日を過ぎたものはお受けできません。応募作品の開発などの時期は問いませんので、例えば、次回のご応募をご検討ください。

応募作品が到着しているか教えてください。

応募作品の到着状況に関するお問い合わせには応じられません。応募作品の発送にあたり、発送記録や受領記録が残る形式（郵送又は宅配便）をご利用ください。

間違いを発見しました。修正したいのですが。

受理した応募作品の差替えや修正はできません。誤字脱字などの間違いは、受賞の手続きにあたり、修正の機会があります。

消防職員ですが一般の部で応募できますか。

主たる応募者が一般の方であれば一般の部で応募できますが、該当しない場合は（嘱託などの非正規雇用の方も）消防の部でご応募ください。

他の募集に応募している作品ですが、重ねて応募しても大丈夫ですか。

大丈夫です。表紙にある「他の公募等への応募状況」欄にその旨を記入してください。

開発・改良と論文、どちらの区分で応募すればよいですか。

どの区分で応募するかについては、【参考】に基づきご自身で判断していただくようお勧めしています。区分の要件に相応しい記載内容とすることで審査上の評価につながります。

【参考】「応募要領」の「3.2 作品の区分」、「4.2 評価のポイント」、「応募作成要領」の「記入例」のほか、消防研究センターホームページ掲載の「全国消防技術者会議資料」（受賞作品の本文がそのまま掲載されています）を参照してください。



よくある間違い



- ・写真等の連番が本文と一致しない。本文に連番の記載はあるが写真等を入れ忘れている。
- ・CDの中に何も入っていない。
- ・古い様式を使用している（消防研究センターホームページより最新の様式をダウンロード）。
- ・写真や図の注釈に用いられる「赤い線（矢印）」「青い線（矢印）」が、モノクロ印刷では区別がつかない。
- ・確認をとらずに関係する会社名を記載した。

作成にあたってのアドバイス（審査員コメントより）

消防防災機器等の開発・改良

- ・過去の受賞作品と良く似た作品が増えている。必ず過去の受賞作品を確認すること。インターネット等でも類似品を確認し、似たものについては相違点を詳しく書くと良い。
- ・開発改良後の信頼性や安全性の客観的な評価（規格にあっているかなど）を行う。
- ・開発者、改良者の意見だけでなく、使用者の意見があると良い。
- ・仕様の詳細を記入し、検証を十分に行う。
- ・写真だけに頼らない（文章で動きや設定などをきちんと説明する）。
- ・過去に応募した作品の改良版の場合、前作品と違う点を明確に分かりやすく（どこがどう飛躍的に進歩したのかを）比較記述すると良い（過去に応募した作品と同一と思われる作品は受け付けない）。

消防防災科学論文

- ・論文として構成が整っているか確認する。
- ・論文として応募するより、開発・改良の部に応募する方が相応しい場合が多い。
- ・火災事例に基づく内容であっても、火災予防対策に重点が置かれた作品については論文として応募することも考えられる。

原因調査事例

- ・メーカーから提出された図面等を使用する場合、本応募が目的外使用でないか、提供元の了解を得ているか等を確認し、その旨を記述すると良い。
- ・詳細に見分、観察を行っているものが増えている。末端のユーザーまで注意喚起が行えるような方策を取ると良い。
- ・データや詳細を十分に記載する（写真だけに頼らない）。
- ・検証実験をする場合、条件を整理し、図や表を用いて説明するなど読み手に分かりやすい工夫をする。

